

教育哲学研究

第 120 号

2019

特集 教育と科学・真理

- 新たなる Wissenschaft (科学・学問・知識) 論に基づく「術としての教育」の構造と可能性
..... 衛藤 吉則
- 教育現象学的事例研究における真理
— フッサールの思索を端緒として — 大塚 類
- 科学・真理と民主主義の関係とその教育的意味
..... 河野 哲也
- 「妥当性」は自然科学的真理観の批判をいかに可能にしたか
— ヘルマン・ロツツェからエミール・ラスクへの系譜の素描から — 杉田 浩崇
- エビデンスに基づく教育における教育哲学研究の位置について
— 再び EBM を参照することで見えてくるもの — 藤川 信夫

論文

- 初期ジョルジョ・アガンベンにおける「言語活動の経験」
— 一九八〇年代著作におけるインファンティア及び声の概念に着目して — 原田 拓夢
- 学際的領域としての教育学における分断の危機とその克服可能性
— 「合理的な説得」をめぐる R・J・バーンスタインの議論から — 深見 奨平

エッセイ

- 「教育学」としての教育哲学が担う役割とは何か 生田久美子

教育哲学を考える

- 教育哲学と地理 広瀬 悠三

書評

- 綾井桜子著『教養の揺らぎとフランス近代 — 知の教育をめぐる思想 —』 伊藤 敦広
- 生澤繁樹著『共同体による自己形成 — 教育と政治のプラグマティズムへ —』
..... 加賀 裕郎
- 嶋口裕基著『ブルーナーの「文化心理学」と教育論 — 「デューイとブルーナー」再考 —』
..... 相馬 宗胤
- 橋本憲幸著『教育と他者 — 非対称性の倫理に向けて —』 森岡 次郎
- 門前斐紀著『木村素衛「表現愛」の人間学 — 「表現」「形成」「作ること」の身体論 —』
..... 山田真由美
- 矢野智司著『歓待と戦争の教育学 — 国民教育と世界市民の形成 —』 今井 康雄

渡辺哲男・山名淳・勢力尚雅・柴山英樹編著『言葉とアートをつなぐ教育思想』

.....小松佳代子

図書紹介

西平直著『ライフサイクルの哲学』

.....奥本 陽子

英文摘要

教育哲学会